

# 学校だより

よく考え  
よく考える子

励まし合って  
励まし合う子

やりぬく子  
やりぬく子



TEL : 69-2029 FAX : 69-4448 HP-URL : <http://www.tanpopo.ne.jp/~ohyabu/index.htm>

## 続 「あったか言葉」「あったか行動」

「口」は、人を励ます言葉や感謝の言葉を使うために使おう。

「耳」は、人の言葉を最後まで聴いてあげるために使おう。

「目」は、人のよいところを見るために使おう。

「手足」は、人を助けるために使おう。

「心」は、人の痛みがわかるために使おう。

これは、「命の授業」講演家の腰塚勇人（こしづかはやと）さんが、講演や著書の中で述べられておられる言葉です。（5つの誓い）

腰塚さんは、中学校の教員をしておられましたが、スキーによる事故で首の骨を折り、全身が動かないという深刻な麻痺状態になってしまいました。一時は自殺まで考え、絶望の気持ちで暮らしましたが、懸命なりハビリと周囲の応援、励ましの結果、見事に職場復帰をされました。この経験から、生きることへの見方、考え方、感じ方が変わり、「命の大切さ」「生きていることの素晴らしさ」「両親、家族、仲間の大切さ」など、普段の生活の中で当たり前と感じ、忘れかけているたいせつな幸せについて、語ることを始められました。

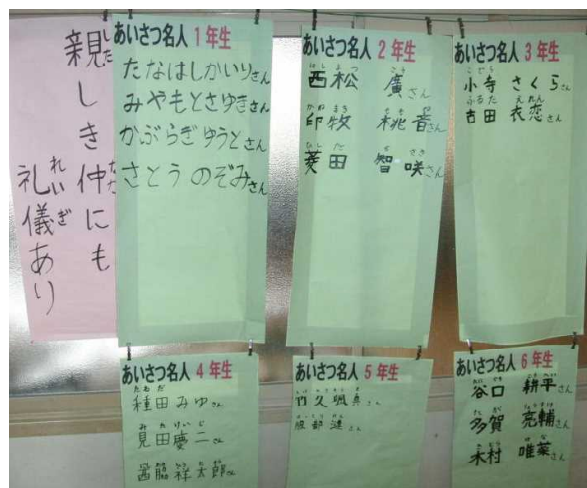
数多くのテレビ出演をされ、講演活動も活発に行っておられるのですが、私はまったく知らずにいました。しかし、大藪小学校で支援員をしてくださっている宗石恵好先生が講演を聞かれ、「いい話でした。」と、パンフレットを私に見せてくださったことから知ることができました。宗石恵好先生も地元の羽島で児童支援にかかわるボランティア活動を活発にしておられる素晴らしい先生です。



「さんづけの花を咲かせよう」の取り組み

大藪小学校では、11月から児童会を中心に「あったかフラワーガーデンの花をさかせよう。」という取り組みをしてきましたが、成果があったことから、今でも継続しています。

腰塚さんの「5つの誓い」を見たとき、これは、大藪小学校の取り組みを発展させた考え方だなあ。と感じました。そして、大藪小学校が、ずっと「あったか言葉」「あったか行動」を増やそうと努力を続けていることは、大きな価値があると実感しました。これも、「みんなが誇る大藪小学校」と言える所以（ゆえん）です。



「あいさつ名人」の取り組み